

株主のみなさまへ

株式会社 安川電機 第102期事業ご報告

2017年3月21日 ▶ 2018年2月28日

(証券コード：6506)

Contents

株主のみなさまへ	1
特集：「Dash 25」経過報告	3
i ³ -Mechatronics	4
トピックス	5
事業案内	6
セグメント別の概況	7
業績の推移	12
株式の状況	13
会社の概要	14

To our shareholders

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年度の当社業績につきましては、中国を中心とする設備投資の高需要に加え、欧米・アジアにおける成長市場を的確に捉え、過去最高の業績を達成いたしました。そしてこの成果により、3カ年計画で進めている中期経営計画「Dash 25」の利益目標を1年前倒しで実現いたしました。

2018年度の当社グループを取り巻く経営環境は、IoT (Internet of Things) や AI (人工知能) の活用拡大を背景に、製造業を中心とした生産の高度化・自動化への取り組みが加速するなど、総じて好調な状況が見込まれます。このような状況下、当社グループは長期経営計画「2025年ビジョン」で掲げる「産業自動化革命の実現」に向けて、新たなソリューションコンセプト「i³-Mechatronics (アイキューブ メカトロニクス)」を2017年10月に発表しました。グローバルで競争力のある当社製品を介して得られるビッグデータを活用できる強みを生かし、お客さまが製造現場で抱える様々な課題の解決に貢献してまいります。

株主のみなさまにおかれまして、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年5月

代表取締役社長 小笠原浩

■ 決算の概要 (連結)

2018年2月期(2017年3月21日～2018年2月28日)における、当社グループの業績は、中国をはじめグローバルで製造業における生産設備の高度化・自動化を背景とした旺盛な需要を受け、好調に推移しました。特に、半導体や電子部品関連などで、モーションコントロールやロボットの販売が大幅に伸長しました。その結果、売上高および利益は年度業績として過去最高となりました。

なお、当期の当社グループを取り巻く経営環境については、国内ではスマートフォンやデータセンタ関連の高い需要を背景に、半導体・電子部品向けが好調に推移しました。また、製造業を中心に設備の更新、生産能力の増強や効率化を目的とした設備投資が拡大しました。欧米では堅調な経済成長を背景に、自動車関連の需要が底堅く推移したことに加え、オイル・ガス関連の回復や半導体関連の好需要が継続しました。アジアにおいては、中国でスマートフォン関連を中心に製造業全般で、

生産設備の高度化・自動化が加速したほか、インフラ投資関連の需要が好調に推移しました。また、韓国でメモリや有機ELをはじめとする半導体関連の設備投資が堅調に推移しました。

この結果、当期の当社グループの業績は、売上高4,485億23百万円、営業利益541億26百万円、経常利益553億0百万円、親会社に帰属する当期純利益397億49百万円となりました。

● 売上高

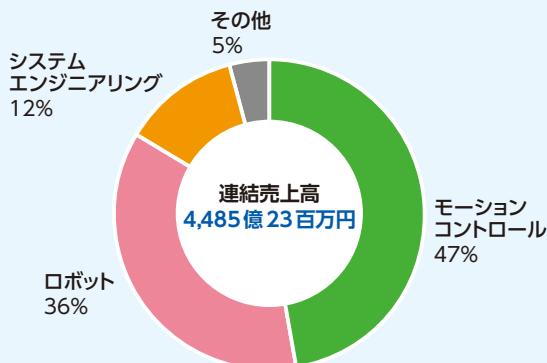


● 営業利益

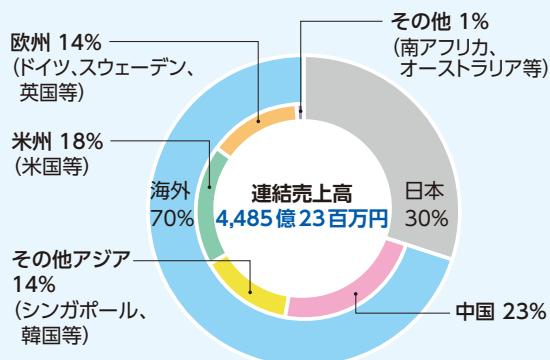


※2017年度は変則決算のため、前期比増減率は「－」表記となっております。
詳細はP13をご参照ください。

● 売上高のセグメント別内訳



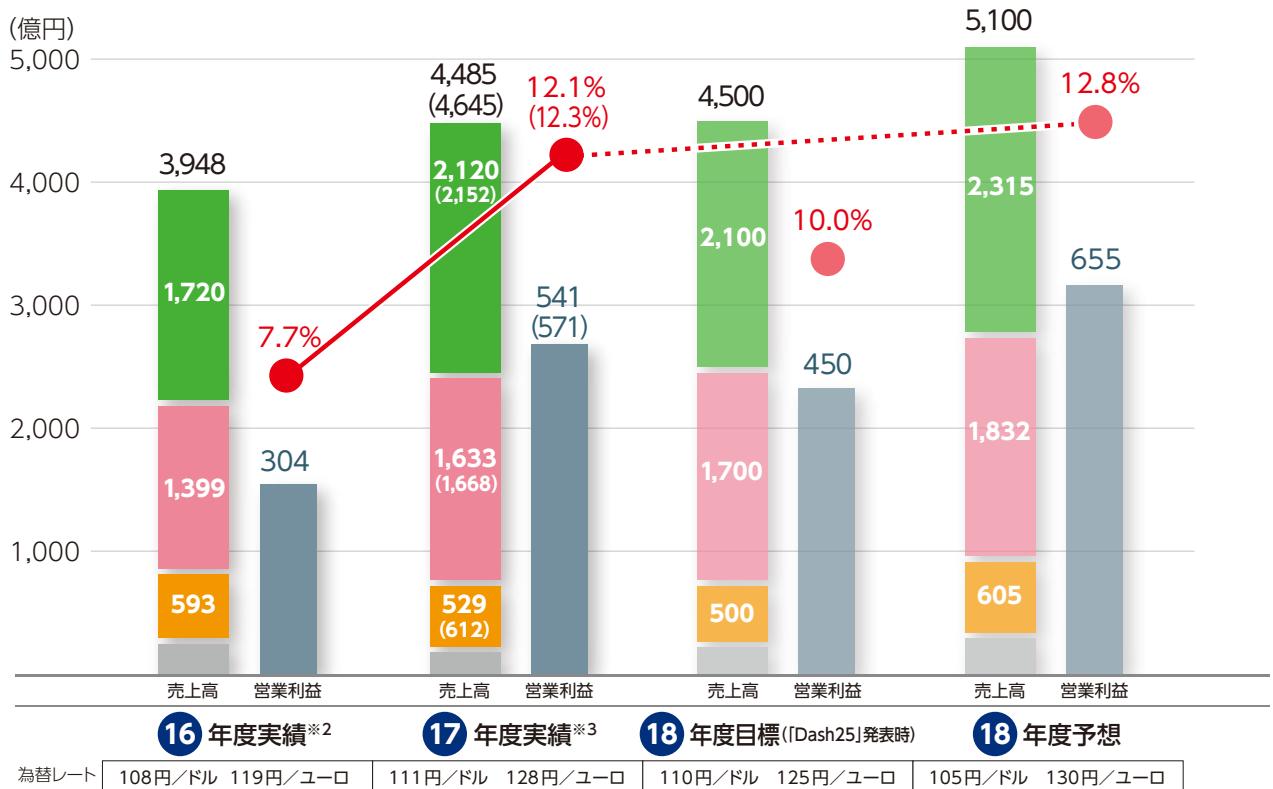
● 売上高の地域別内訳



中期経営計画「Dash 25」経過報告

中期経営計画「Dash 25」の2年目にあたる2017年度の進捗状況は、中国をはじめグローバルで旺盛な需要を受け、モーションコントロール・ロボットを中心に収益性が大幅に向上いたしました。この結果、当初計画（2016年4月20日発表）における2018年度（最終年度）の利益目標を1年前倒しで実現することができました。

2018年4月12日に発表しました2018年度の予想については、前年度に引き続き、自動化・省人化の需要や、半導体・電子部品などのIoT需要などが高い水準で推移することが見込まれます。このような良好な経営環境を受け、大幅な増収増益を計画しております。



中期経営計画「Dash 25」

表記: ● = モーションコントロール ● = ロボット ● = システムエンジニアリング ● = その他 — 営業利益率

※1: () 内の数値は、決算期が従来どおり(2017年3月21日~2018年3月20日)だった場合の参考値を記載しています。

※2: 2016年度実績は、2017年度に実施したセグメント変更に伴う影響を遡及して修正しています。

※3: 2017年度実績は、決算期変更により対象期間が2017年3月21日~2018年2月28日の数値です。

i³-Mechatronics ~新たなソリューションコンセプト~

長期経営計画「2025年ビジョン」に掲げている「新たな産業自動化革命の実現」に向け、これまでのソリューションに「デジタルデータのマネジメント」を加え、さらに進化・実行する新たなコンセプト「i³-Mechatronics (アイキューブ メカトロニクス)」を始動しました。事業部や製品の枠を超えたトータルソリューションを提供していきます。

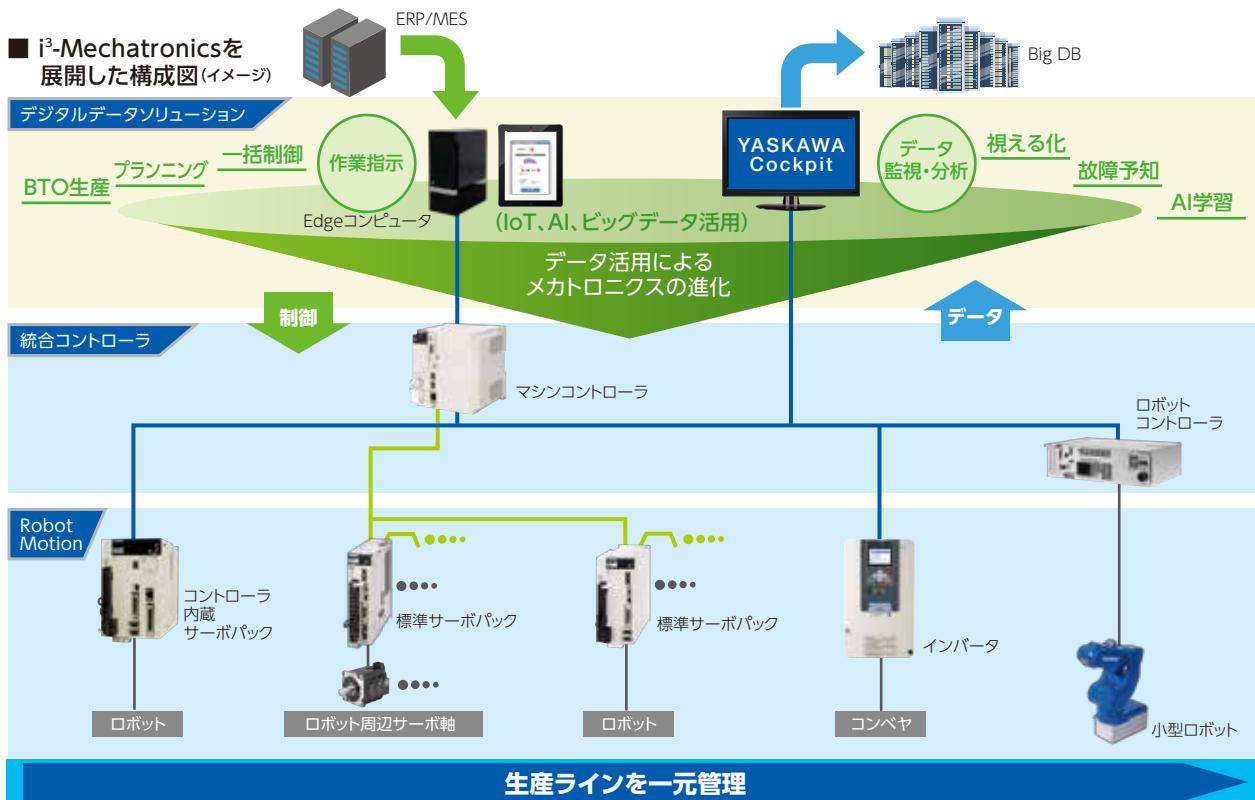


i³-Mechatronics

アイキューブ メカトロニクス

より統合的に (integrated) 　データ活用による
より知的に (intelligent) 　メカトロニクスの進化
より革新的に (innovative)

人とメカトロニクスが共生する、
より豊かな未来に向かい
止まることなく前進し続けるお客さまと、
共創する価値を目指して。



MotoMINIが「日経優秀製品・サービス賞2017」を受賞

業界最小・最軽量の新型ロボットMotoMINIが、「日経優秀製品・サービス賞2017（日本経済新聞社 主催）」においてBtoB企業の製品としては唯一となる最優秀賞を受賞しました。

「日経優秀製品・サービス賞」とは

日本経済新聞社が1年に一度、特に優れた新製品・新サービスを表彰するもので、今回で36回目を迎えました。ノミネートは公募によらず、この1年間に日本経済新聞などに掲載された新製品・新サービス約2万点の中から独自に選定され、最優秀賞として5点が選出されました。

最優秀賞トロフィーと表彰状



選出理由

業界最小・最軽量となる6軸多関節ロボットMotoMINIは、本体重量が約7kgと非常に軽量なため、クレーンなどを使わずに人の手で持ち運び、卓上に設置することができます。このような特長を生かし、人手不足に悩む生産現場において、品目ごとの生産状況に合わせたラインの再構築やレイアウト変更が簡単に行えるようになった点が高く評価され、今回の受賞となりました。



MotoMINI

AIベンチャー企業 株式会社クロスコンパスと資本提携

当社が目指す新たな産業自動化革命の実現に向け、製造業向けのAI(人工知能)ソリューションで実績を持つベンチャー企業 株式会社クロスコンパスと資本提携を行いました。

資本提携の狙い

日本や欧米諸国、中国の製造業においては、人手不足の解消をはじめ高い生産効率や品質維持、止まらない生産ラインへのニーズが高まってきています。特に、製造機器や産業用ロボットの知能化・故障予知、検査工程の効率化には高い期待が寄せられています。当社はこれらのニーズに応えるべく、新たな産業自動化革命の実現を目指し、製造業向けのAIソリューションで実績を持つ株式会社クロスコンパスと、このたび資本提携を行うこととなりました。

株式会社クロスコンパスの概要

AIに特化したベンチャー企業として2015年に設立。機械学習コンサルティング、データ解析サービスの提供、AIプラットフォーム構築、新たなアルゴリズム開発などを得意としている会社です。2017年6月には生産ラインの異常検知・予知保全など製造業に必要とされる機能や、簡単でわかりやすいユーザーインターフェースを有する統合開発環境を製品化し、多くの企業から高い評価を受けています。

事業案内

当社は1915年の創立以来、「事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献する」という経営理念に基づき、常に時代の主力産業を支え続けてきました。現在は、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」の基幹事業を軸に、世界最高水準の技術力とノウハウを駆使し、産業と社会の発展に貢献しています。

高性能・高生産性の機械システムを構築する

モーションコントロール ▶P.7

ACサーボドライブ世界シェアトップクラス!

累計出荷台数1,600万台突破(2017年10月)

インバータ世界シェアトップクラス!

累計出荷台数2,500万台突破(2017年)



自動化により産業の生産性向上に貢献する

ロボット ▶P.9

産業用ロボット世界シェアトップクラス!

累計出荷台数38万台突破(2017年)



豊かな暮らしと社会を支える

システムエンジニアリング ▶P.11

大型高炉プラント用システム電機品[※]・

大型洋上風車用発電機

世界シェアトップクラス!

※国内においてはシェア100% (2017年)



セグメント別の概況

■ モーションコントロール

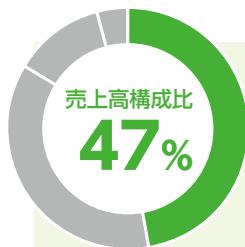
世界の産業ニーズに応える
モーションコントロール事業

当セグメントには、ACサーボモータ、コントローラ、インバータなどの製品があります。ACサーボモータ、コントローラは電子部品や半導体部品などの高い精度が求められる製造装置に組み込まれ、生産設備の高度化ニーズに応えています。インバータは大型空調やクレーン、エレベータなどの社会インフラで利用され、きめ細かなモータ制御によって、省エネに大きく貢献しています。



安川インバータ 新シリーズ

ACサーボ Σ-7シリーズ



事業の業績

ACサーボモータ・コントローラ事業においては、生産設備の自動化加速やスマートフォン関連の旺盛な需要を受け、半導体・電子部品向けを中心に販売が好調に推移しました。また、主力製品「Σ-7シリーズ」の販売比率の向上や中国生産の拡大により、収益性は大幅に向上しました。インバータ事業においては、米国でのオイル・ガス関連需要や中国におけるインフラ投資の回復により、販売が好調に推移し、営業利益も向上しました。これらの結果、セグメント全体では、売上高・営業利益ともに年度業績としては過去最高となりました。

売上高

2,120億95百万円

前期比*「-」

営業利益

417億29百万円

前期比*「-」

主要製品

- ACサーボモータ
- 工作機械用AC主軸モータ
- リニアモータ
- 各種モータ制御装置
- マシンコントローラ
- ビジョンシステム
- 汎用インバータ
- 電源回生コンバータ
- マトリクスコンバータ

*2017年度は変則決算のため、前期比増減率は「-」表記となっております。詳細はP13をご参照ください。

新製品

業界最小クラスの超小型モデルをラインアップ!

ACサーボモータΣ-7miniを発売

ACサーボドライブΣ-7(シグマ・セブン)シリーズの新たなラインアップとして、業界最小ながらもパワフルで高速・高精度なACサーボモータΣ-7miniの販売を開始しました。最新の最高性能磁石を採用することでさらなる小型化を実現し、名刺サイズに収まる大きさとなりました。Σ-7miniを組み込むことで、お客さま装置の省スペース化を実現し、性能向上に大きく貢献します。

主な用途

- 検査装置、計測機器
- バイオ・メディカル用装置
- 電子部品製造装置
- ロボット
- 組立装置
- マウンタ
- 半導体製造装置



Σ-7mini

新製品

機械・設備の見える化、故障予知をインバータで実現

インバータ用プログラミングツールDriveWorksEZの機能を強化

ものづくりの現場では、生産効率向上や保守費用削減を目的とした運転状況の見える化や、機械の故障予知に対するニーズが高まっています。当社の汎用インバータGA700はこのニーズに対応するため、モータの制御を行うだけでなく、モータやインバータ自身の運転状況を常にモニタリングしています。そして、このモニタリングしたデータをプログラミングツールDriveWorksEZにインプットすることで、正常時と違う状態を検知することが可能となり、機械・設備の見える化や故障予知を実現します。このたび行ったDriveWorksEZの機能強化により、故障予知の精度や作業効率を大幅に向上させ、お客さまの機械・設備のさらなる価値向上に貢献します。



セグメント別の概況

■ ロボット

新たな挑戦を続け
進化するロボット

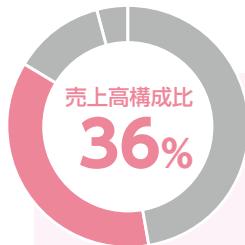
当セグメントを構成する産業用ロボットは、自動車関連市場を中心に、さまざまな産業分野において溶接、塗装、組立、搬送などの自動化に貢献しています。当社はロボットを構成する機械部品やコントローラなどを自社開発しており、高度化するお客さまの要求にきめ細かく対応していくことで、トップメーカーの地位を築いています。



人協働ロボット
MOTOMAN-HC10



新型アーク溶接ロボット
MOTOMAN-AR1730



事業の業績

溶接・塗装ロボットなど当社グループが強みを持つ自動車関連向けの売上は、中国・欧州をはじめ海外全般で堅調に推移しました。また、一般産業分野向けの売上は、スマートフォンや家電など製造業全体での生産自動化に伴う旺盛な需要を受け、中国を中心に増加しました。これらの結果、生産量が高い水準で推移したことや中国生産比率の拡大により、生産性は大幅に改善し、売上高・営業利益ともに年度業績としては過去最高となりました。

売上高

1,633億79百万円

前期比※「－」

営業利益

177億61百万円

前期比※「－」

主要製品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- シーリング・切断ロボット
- バリ取り・研磨ロボット
- 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空搬送ロボット
- 人協働ロボット
- バイオメディカル用途対応ロボット
- ロボット周辺機器
- ロボット応用FAシステム

※2017年度は変則決算のため、前期比増減率は「－」表記となっております。詳細はP13をご参照ください。

新製品 中小型対象物向けの塗装に最適化

新型塗装ロボット

MOTOMAN-MPX1950 を発売

ホースの取回しをコンパクトにする中空手首構造を採用し、高度な品質が求められる自動車部品塗装に加え、小さく複雑な形状の家電部品などの塗装にも対応します。また、本体の軽量化により設置方法の自由度を向上させ、生産ラインのコンパクト化、コスト低減に貢献します。



MOTOMAN-MPX1950

主な用途

- 自動車樹脂製部品
- 各種樹脂製・金属製部品等の中小型対象物

新製品 高加圧スポット溶接で自動車ボディーの新素材に対応

新型中空スポット溶接ロボット MOTOMAN-SP110H、SP180H、SP225H を発売

近年、低燃費エコカーの普及が加速しており、メーカー各社は車体軽量化のためボディーにアルミニウムなどの新素材を採用しつつあります。当社は、この新素材への対応力を格段に向上させた新型高加圧スポット溶接ロボットの販売を開始しました。



MOTOMAN-SP225H

主な用途

- エコカーなどの自動車ボディーや部品の溶接

新製品

新型ロボットコントローラYRC1000に対応する中大型ロボットのラインアップ拡充

中大型産業用ロボット MOTOMAN 全 29機種 (可搬質量 35 ~ 600kg) を発売

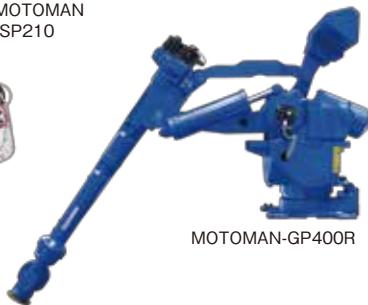
可搬質量7~25kgのMOTOMAN小型機種に先行して適用していた新型ロボットコントローラYRC1000と接続可能な中大型の産業用ロボットMOTOMAN全29機種を新たに開発・製品化しました。可搬質量が35~600kgと幅広い製品ラインアップを揃え、ハンドリング、スポット溶接やプレス間搬送など多様な生産ライン構成への対応力・適応力を向上しました。さらに、省エネ機能の搭載やセットアップ時間の短縮、動作速度やメンテナンス性の向上などにより、お客さまへ高効率・高付加価値なソリューションを提供します。



MOTOMAN-GP110



MOTOMAN-SP210



MOTOMAN-GP400R

主な用途

ハンドリング

- 部品搬送、マシン間搬送、住宅や家具パネルの搬送、射出成形機へのワーク投入など

スポット溶接

- 自動車ボディーや部品のスポット溶接、中型ガンによる省スペース配置・広範囲スポット溶接など

プレス間搬送

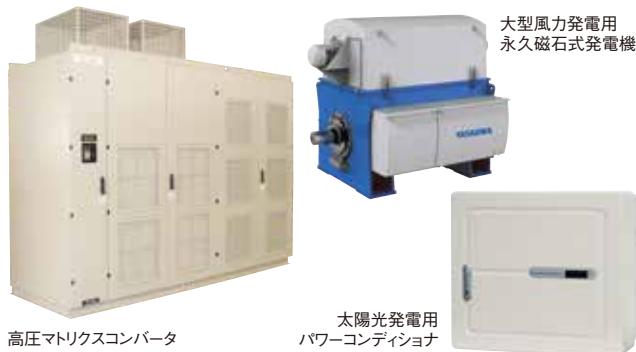
- 中・大型パネルの搬送など

セグメント別の概況

■システムエンジニアリング

世界に誇る安川電機のシステム技術

鉄鋼・水処理プラントなどにおいて当社は高度なシステム技術と高品質な製品で最適なソリューションを提供し、快適な暮らしと豊かな町づくりに貢献しています。また、省エネ・創エネ技術を応用し、大型風力・太陽光発電関連ビジネスを展開するなど、クリーンパワー事業にも参入しています。



高圧マトリクスコンバータ

太陽光発電用
パワーコンディショナ大型風力発電用
永久磁石式発電機

事業の業績

鉄鋼プラントシステム・社会システム分野では、設備の更新ニーズを的確に捉え、大型プロジェクトの取り込み等により計画に対しては堅調に推移しました。環境・エネルギー分野では、大型風力発電関連の売上は底堅く推移した一方、日本・米国市場における太陽光発電用パワーコンディショナ関連の販売減少により、収益性は悪化しました。これらの結果、セグメント全体では、売上高および営業損益ともに悪化しました。

売上高

529億34百万円

前期比*「－」

営業利益

▲37億94百万円

前期比*「－」

主要製品

- 鉄鋼プラント用電気システム
- 上下水道用電気システム
- 各種産業用電気システム
- 高圧インバータ
- 高圧マトリクスコンバータ
- 産業用モータ・発電機
- 風力発電用コンバータ・発電機
- 太陽光発電用パワーコンディショナ
- 小水力発電用発電機
- 風力発電システム
- 太陽光発電システム
- 船舶用システム
- エネルギー関連システム

■その他



事業の業績

その他セグメントは、情報関連事業および物流サービス事業などで構成されています。経営の効率化を目的とした構造改革を進めたことにより、僅かながら収益性が改善しました。

売上高

201億12百万円

前期比*「－」

営業利益

▲2億12百万円

前期比*「－」

主要製品

- EV用モータドライブシステム
- 物流サービス



EV用モータドライブシステム

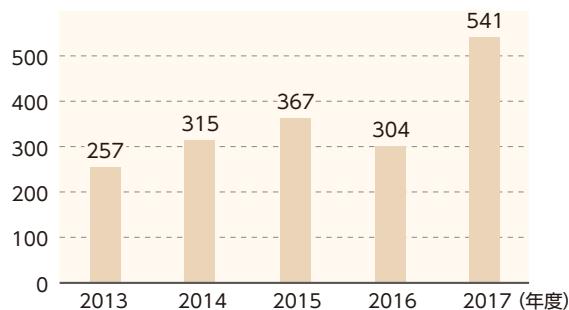
※2017年度は変則決算のため、前期比増減率は「－」表記となっております。詳細はP13をご参照ください。

業績の推移 (連結)

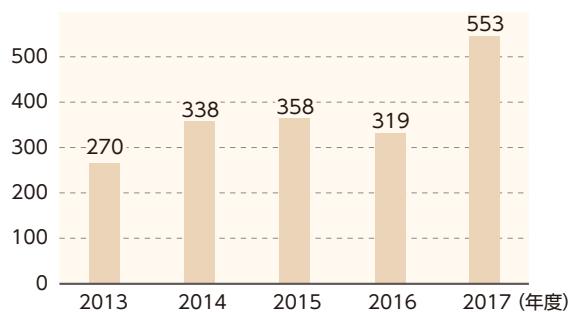
● 売上高 (単位:億円)



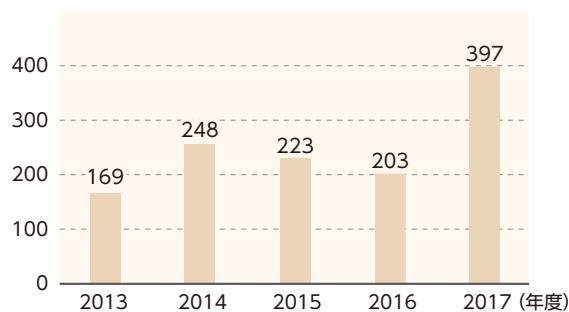
● 営業利益 (単位:億円)



● 経常利益 (単位:億円)



● 当期純利益 (単位:億円)



● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

自2017年3月21日 至2018年2月28日			
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,054	現金及び現金同等物の増減額	12,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,852	現金及び現金同等物の期首残高	29,735
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,820	新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	96	現金及び現金同等物の期末残高	42,213

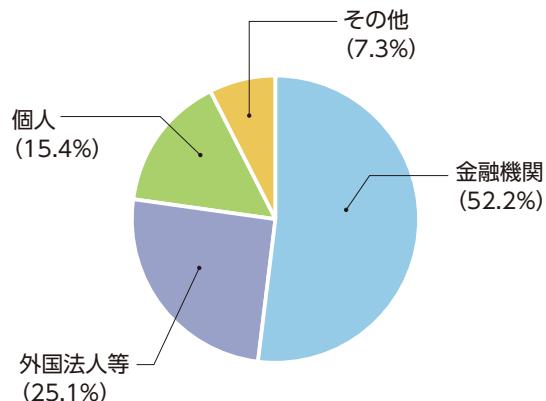
株式の状況 (2018年2月28日現在)

発行可能株式総数 …………… 560,000 千株
 発行済株式の総数 …………… 266,690 千株
 資本金 …………… 305億62百万円
 株主数 …………… 74,064名

● 配当金情報

第102期(自2017年3月21日 至2018年2月28日)配当について			
中間配当	1株につき	20円	
期末配当	1株につき	20円	
年間	1株につき	40円	

● 所有者別株式分布状況



■ 決算期変更のお知らせ

当社グループが今後もグローバル企業として着実な成長を続けていくにあたり、経営情報の適時・的確な開示によるさらなる経営の透明性の向上を図ることを目的として、海外連結子会社を含むグループ全体の決算期(事業年度の末日)を2月末日に統一いたしました。それに伴い、決算期変更の経過期間となる第102期(2017年度)は、2017年3月21日から2018年2月28日までとなります。

決算期変更の内容

従来	毎年 3月20日
変更後	毎年 2月末日

2017年度の会計期間

2017年度			
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
3/21~6/20	6/21~9/20	9/21~12/20	12/21~2/28

会社の概要

商号	株式会社安川電機		
英文社名	YASKAWA Electric Corporation		
創立	1915年7月16日		
従業員 (2018年2月28日現在)	連結：12,449名(2,838名) 単独：2,787名(265名) ※()にパート、アルバイト、派遣社員、嘱託契約社員の年間平均人員を外数で記載。		
役員	取締役 (監査等委員である取締役を除く)	代表取締役会長 代表取締役社長 代表取締役 専務執行役員 取締役 常務執行役員 取締役 常務執行役員 取締役 執行役員	津田 純 嗣 小笠原 浩 村上 周二 南 善 勝 高 宮 浩 一 中 山 裕 二
	監査等委員である取締役	取締役 監査等委員(常勤) 取締役 監査等委員(常勤) 社外取締役 監査等委員 社外取締役 監査等委員 社外取締役 監査等委員 社外取締役 監査等委員	野田 幸之輔 塚 畑 浩 一 秋 田 芳 樹 辰 巳 和 正 坂 根 淳 一 佐々木 順 子
事業所	執行役員	常務執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員	扇 博 幸彦 善 家 充 彦 小 川 昌 寛 生 山 武 史 今 福 正 教 熊 谷 彰 Manfred Stern Michael Stephen Knapek 森 川 泰 彦 中 野 純 一 陣 内 信 朗
	本社	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号	
	東京支社	〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー	
	中部支店	〒470-0217 みよし市根浦町二丁目3番地1	
	大阪支店	〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル	
	九州支店	〒810-0001 福岡市中央区天神一丁目6番8号 天神ツインビル	
	工場等	八幡西事業所・行橋事業所・入間事業所・中間事業所	

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで(2018年度より)〈注〉
定時株主総会開催月/配当金受領株主確定日	5月/毎年2月末日および8月31日(2018年度より)〈注〉
公告方法	電子公告(https://www.yaskawa.co.jp/ir/)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

〈注〉当社は、2017年6月15日開催の第101回定時株主総会において「定款一部変更の件」を決議し、決算期を3月20日から2月末日に変更しました。

■未払い配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店および全国各支店にてお支払いいたします。
※みずほ証券の本店および全国各支店においても、取次ぎをいたします。

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴う手続き等

証券会社に口座をお持ちの株主さま □座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま(特別口座に記録されている株主さま) 下記連絡先にお問い合わせください。

●みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324

■お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部



0120-288-324

オフィシャルサイト、“個人投資家のみなさまへ”ページのご案内 <https://www.yaskawa.co.jp/>

決算説明会の音声配信などのIR情報や、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。



株主・投資家情報をクリック

個人投資家のみなさまへ

“個人投資家のみなさまへ”ページ

“個人投資家のみなさまへ” ページコンテンツ

- 事業内容紹介
- 経営ビジョン
- 財務・業績ハイライト
- 歴史・沿革
- 配当・株主還元
- 統合報告書



QRコード

安川電機

検索

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

本冊子に記載の数値は切り捨てにて表示しており、決算補足資料など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。